学校番号	T3003

平成３１年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	2	年次	1
使用教科書	情報の科学（日文）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会ではなくてはならないコンピュータやネットワークなどの基礎知識及び情報技術の役割や影響を学んでいくとともに、実践的・体験的な学習を通してコンピュータの使い方を学習します。

2 学習の到達目標

・情報技術に関する基礎的な知識をしっかりと理解することができる。
・コンピュータを活用して情報収集・整理をすることができる。
・さまざまなアプリケーションの使い方を理解し技能を習得する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報技術に関する知識及びコンピュータの使い方などに興味・関心を持ち知識、技能を習得しようとする態度。	・問題解決に向けて情報技術の知識とコンピュータを活用し適切に解決しようとする力。	・情報技術の基礎知識を理解し、それらを用いてコンピュータを使ってデータ処理や情報発信などをすることができる。	・社会における情報技術の役割や影響及びルールやマナー、情報の安全性について理解している。 また、問題解決においてアプリケーションの選択方法、使い方を理解している。
評価方法	ノートの記述 定期考査の結果 授業態度 作品の完成度	ノートの記述 定期考査の結果 授業態度 作品の完成度	ノートの記述 定期考査の結果 授業態度 作品の完成度	ノートの記述 定期考査の結果 授業態度 作品の完成度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	コンピュータによる情報の処理と表現	○コンピュータと情報処理 ○情報のディジタル化	○ ○	 ○	○ ○	○	a:コンピュータの仕組みや各データの表現方法に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報のディジタル化について理解し、それらのメリット・デメリットについて考えることができる。 c:コンピュータ動作の仕組みや構成を理解するとともに各種データをディジタル化し表現することができる。 d: コンピュータ動作の仕組みや構成を理解し、データの流れやソフトウェアの必要性について理解している。	ノートの記述 定期考査 授業態度
前期	ネットワークがつなぐコミュニケーション	○メディアとコミュニケーション ○ネットワークの動作と仕組み ○情報セキュリティ	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	a:コンピュータネットワークや情報セキュリティに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:ネットワークの仕組み及び情報セキュリティを理解し、それらが社会に与える影響や役割について考えている。 c:情報を共有するため通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 d:プロトコルや情報伝達の仕組みについて理解し、セキュリティ対策についても理解している。	ノートの記述 定期考査 授業態度
前期	情報システムが支える社会	○情報社会と情報システム ○安全な情報社会を目指して	○ ○	○ ○	○ 	○ ○	a:さまざまな情報システムや情報化社会における法律などに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:各情報システムの役割やサイバー犯罪、情報に関する各種法律、各種権利について理解し考えることができる。 c:情報モラルを踏まえて情報技術を活用することができる。 d:情報システムの役割、サイバー犯罪が社会に与える影響などについて理解している。	ノートの記述 定期考査 授業態度

前期	コンピュータ実習	○ワープロソフトの基本操作 ○タイピング ○文書作成	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:ワープロソフトに興味をもち、実習に積極的に取り組んでいる。 b:ワープロソフトを活用した情報の伝え方を考えることができる。 c: ワープロソフトの基礎的な使い方を理解し、それらを活用して情報を伝えることができる。 d:ワープロソフトを活用することで適切に情報を加工・処理・発信できることを理解している。	実習態度 作品の完成度
後期	問題の発見・分析と解決の方法	○問題解決とは ○問題解決のための方法 ○問題解決の実践	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:問題解決方法に興味をもち、学習に積極的に取り組んでいる。 b:問題解決の必要性を理解し考えることができる。 c:問題解決の方法を理解し、実行・評価・新たな問題の発見につなげることができる。 d:問題解決の流れを理解することで次の問題解決の場面でその経験を生かせることを理解している。	ノートの記述 定期考査 授業態度
後期	問題解決と処理手順の自動化	○基本的なアルゴリズムとプログラム ○いろいろなアルゴリズム	○ ○	○ ○	○	○	a:アルゴリズムに興味をもち、学習に積極的に取り組んでいる。 b:アルゴリズムについて基礎的な知識を理解し、問題解決に向けてアルゴリズムを考えられる。 c:問題解決するためにアルゴリズムを作成することができる。 d:プログラム言語を作成するためにもアルゴリズムが必要であることを理解している。	ノートの記述 定期考査 授業態度
後期	コンピュータ実習	○表計算ソフトの基本操作 ○表計算作成	○ ○	○	○ ○	○	a:表計算ソフトに興味をもち、実習に積極的に取り組もうとしている。 b:表計算ソフトを活用した情報の伝え方について考えることができる。 c:表計算ソフトの基礎的な使い方を理解し、それらを活用して情報を伝えることができる。 d:表計算ソフトを活用することで適切に情報を加工・処理・発信できることを理解している。	実習態度 作品の完成度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。